

令和3年度岐阜県統計グラフコンクール審査結果について

- 主 催 岐阜県
- 後 援 岐阜新聞社、岐阜放送、岐阜県教育委員会、岐阜県小中学校教育研究会
- 目的等 本県における統計知識の普及と統計の表現技術の研さんを目的に、統計グラフ全国コンクール推薦作品の選考を兼ねて毎年開催

○グラフの課題及び評価のポイント

統計グラフ全国コンクールに準じる

○応募作品数の推移

(単位：作品)

	第1部 (小 1・2)	第2部 (小 3・4)	第3部 (小 5・6)	第4部 (中学)	第5部 (高校・ 一般)	パソコン 統計グラフ の部	計
平成30年度	270	295	173	97	2	60	897
令和元年度	247	271	206	158	-	68	950
令和3年度	155	207	149	98	-	49	658

○入賞区分内訳

(単位：作品)

	岐阜県 知事賞	岐阜新聞社・ 岐阜放送賞	入選	佳作	奨励賞	合計
第1部	1	1	3	5	10	20
第2部	1	1	3	5	10	20
第3部	1	1	3	5	10	20
第4部	1	1	3	3	5	13
第5部	-	-	-	-	-	-
パソコン統計 グラフの部	1	1	3	3	3	11
合 計	5	5	15	21	38	84

令和3年度岐阜県統計グラフコンクール作品評

総 評

岐阜県統計グラフコンクールの歴史は古く、今年度で69回目を迎えました。昨年度は、全国コンクールの中止が決定し、残念ながら県のコンクールも中止となりました。今年度再開できたことを、出品者の皆さんとともに大変うれしく思っています。

本県の作品は、全国コンクールでも毎年高い評価を得ております。一昨年度も、本県の入賞作品25点を出品し、パソコン統計グラフの部で中学3年生（当時）の中西美来さんの作品「#がんばっても報われない社会？進まない日本の『男女平等』」の入選をはじめ、他にも6人の方が受賞されました。（佳作6点）これもひとえに、関係者の皆様が「統計知識の普及と統計の表現技術の研鑽」を目的とした本事業の趣旨をご理解いただき、積極的に啓発・指導いただいた成果であると感謝しております。

令和3年度は、県内各地から658点の作品が寄せられました。全体的には、オリンピックや新型コロナウイルス感染症に関する題材がどの部門でも見られるという特徴がありました。1部では生き物や花、野菜など身近な課題をテーマに、観察記録をまとめたり、友だちにアンケート調査をして集めたデータを、絵とグラフをうまく組み合わせたりするなど工夫が見られました。

また、学年が上がるに従って、日常の疑問や学校生活に関するものから環境問題や防災、自然災害や時事問題を取り上げたものまで、多様なテーマの作品がありました。適切なグラフを用いて、色や配列などを工夫して、時間をかけて丁寧に取り組んだことが伺える作品が多くありました。

作品の各部ごとの概要は次のとおりです。

<第1部：小学1・2年生>

低学年らしい発想で、自分の大好きなことである「給食の食材」や「おやつ」を調査したり、「天気」について観察したことや「ゆめ」や「コロナ」について、友達からアンケート調査したことをまとめたりした作品もありました。

<第2部：小学3・4年生>

生活の中で疑問に思ったことや、生活をよりよくしたいという思いから設定した「家族のコミュニケーション」や生活に関する「通学路」や「早寝早起き」などのテーマについて、友だちへのアンケート、観察や調査をすることで、どんなことが言えるかを導くなど、伝えたいことが明確であ

る作品が多くありました。

<第3部：小学5・6年生>

高学年らしく「健康な体と心」「視力低下」などの健康のこと、「レジ袋有料化」「地震」などの環境問題や災害のこと、昨今ブームとなっている「キャンプ」についてなど、興味・関心の広がりを感じさせる作品が多くありました。

<第4部：中学生>

中学校生活の中で気付いた「部活事情」や「ストレス」に関するテーマや、「日本の借金」や「AI」など社会情勢に目を向けた作品があり、中学生の関心の高さを感じるとともに、内容的・視覚的に見応えがある作品が多くありました。

<第5部：高校生・学生・一般>

今年度は応募がありませんでした。

<パソコン統計グラフの部>

中学生では「オリンピック」「新型コロナウイルス感染症」などの時事問題に取り組み、小学生では親子で根気よく取り組んだものが目を引きました。パソコンならではの機能を活用して、データをもとに詳細にグラフを作成して、分かりやすく人目を引く作品に仕上げられていました。

最後に、主張したいことを明確に伝え、よりよい作品にするために注意点を示します。これらことに留意し、来年度もすぐれた作品が多数出品されることを期待します。

【グラフの選択・作成について】

- ・低学年では、学校での学習時期や発達の段階を踏まえて適切なグラフを選択し、同学年の児童が見てわかるような作品にしましょう。
- ・グラフを立体で表すと、割合や大きさが変わって見えてしまうことがありますので、正確に表すことを大切にしましょう。

【構成・レイアウトについて】

- ・主張したいことがよりよく伝わるタイトルを設定しましょう。それに合わせた設問の表現や、用紙内のグラフ配置などを工夫しましょう。
- ・他の人に見てもらおうことを考え、情報量、グラフの大きさ、形や色使い、配置などにも気を付けましょう。

【その他】

- ・コンクールは、作品が優れていても「応募作品の規格」や「応募上の注意」が守られていないと選外となりますので、確実に確認しましょう。特に、調査の時点が分からないものが多かったので、いつ調査されたのかを明記しましょう。
- ・第三者が作成した著作物の無断使用は法律で禁止されています。インターネット上にあるマークやキャラクター、写真等をそのまま引用・転載することは法律違反となる場合がありますので特に注意しましょう。